

[22]哲学論文集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1397702>

出版情報：哲学論文集. 22, 1986-09-20. 九州大学哲学会
バージョン：
権利関係：

六十年年度大会報告

六十年年度例会及び大会は、福岡大学の主催によって以下のように行われました。

○春季例会

六月十五日、福岡大学文系センター十五階会議室において開催されました。研究発表の題目と発表者、及びシンポジウムの提題、提題者、質問者、司会者は次の通りです。

一、研究発表

意識の二元性について

浅田 淳一

二、シンポジウムI — 記憶 —

提題 アウグスティヌスの記憶論（告白）第十卷）における場所的表現の意味の探索

提題者

荒井 洋一

特定質問者

谷 隆一郎

司会者

清水 正照

提題 ソクラテスの行為の知

提出題者

森 俊洋

特定質問者

武 宮 諦

司会者

今 村 茂

浅田氏は現在九大文学部大学院博士課程（倫理学）で研究を続けておられます。

荒井氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は東京学芸大学に勤務しておられます。

谷氏は昭和五十一年東京大学文学部大学院博士課程を修了され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

清水氏は昭和三十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は九州芸工大学に勤務しておられます。

森氏は昭和四十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

武宮氏は昭和三十七年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は山口大学に勤務しておられます。

今村氏は昭和二十四年九大文学部哲学科を卒業され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

○秋季大会

九月二十八日、福岡大学文系センター十五階会議室において開催されました。研究発表の題目と発表者、及びシンポジウムの提題、提題者、討論者、司会者は次の通りです。

一、研究発表

無限性と承認の概念

二、シンポジウムⅠ ——— 国家 ———

提題 国家——その起源から——

提題者

討論者

司会者

シンポジウムⅡ ——— 習慣 ———

提題 トマス・アクィナスにおける徳の概念

提題者

討論者

司会者

西郷大作

小林信行

山崎庸佑

吉田雅幸

上野正二

森俊洋

稲垣良典

猪城博之

林賢市

清水正照

谷口忠顕

菅豊彦

松永雄二

西郷氏は現在九大文学部大学院博士課程（倫理学）で研究を続けておられます。

小林氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

山崎氏は昭和三十八年東京大学文学部大学院博士課程を修了され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

吉田氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は長崎大学教養部に勤務しておられます。

上野氏は昭和五十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は聖マリア病院に勤務しておられます。

森氏は昭和四十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

稲垣氏は昭和二十六年東京大学文学部哲学科を卒業され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

猪城氏は昭和十九年九大文学部哲学科を卒業され、現在は第一経済大学に勤務しておられます。

林氏は昭和二十六年九大文学部倫理学科を卒業され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

清水氏は昭和三十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は九州芸工大学に勤務しておられます。

谷口氏は昭和四十三年及第文学部大学院修士課程（倫理学）を修了され、現在は福岡工業大学に勤務しておられます。

菅氏は昭和四十三年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

松永氏は昭和二十七年京都大学文学部哲学科を卒業され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。